

R8年度
江戸川流域および中川・綾瀬川流域
減災対策協議会

概ね5年で実施する取組に関する
先進事例集

【新規 収集事例(4件)】

(1)-2 ⑧避難地や救援・救護活動の拠点等となる
防災公園の整備・機能強化

1. UR都市機構「防災公園街区整備事業を活用したまちづくり

(2)-1-1 ⑥隣接市区町における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等

1. 水害からの広域避難事例集

(2)-1-1 ⑦要配慮者利用施設における避難計画の作成

1. 要配慮者利用施設における避難確保計画作成推進に向けた
地方公共団体等の取組事例集

(2)-1-2 ⑥共助の仕組みの強化

1. 「防災」と「福祉」の連携による高齢者の避難行動に対する
理解促進のための取組事例集

【再掲 収集事例(19件)】

(2)-1-1 ⑥隣接市区町における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等

1. 鬼怒川・小貝川の大規模水害に関する広域避難計画(案)
2. 首都圏における大規模水害区域避難検討会報告書
(広域避難計画策定支援ガイドライン)
3. 広域避難計画モデルの策定に向けて
～東京東部低地帯における検討を踏まえて～
4. 木曽三川下流部広域避難実現プロジェクト
5. 茨城県広域避難計画策定ガイドライン
6. 隣接市区町における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等の先進事例

(2)-1-1 ⑫多機関連携型タイムラインの検討

1. 「多機関連携型タイムライン(洪水)」の検討報告と
「土器川流域タイムライン(洪水)」の運用に向けて
2. 千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムラインについて
3. 他事務所における多機関連携型タイムラインの運用事例
4. 東京都区市町村タイムライン作成手順書
5. 京都市多機関連携型タイムライン
6. 加古川水系多機関連携型タイムライン

【再掲 収集事例(19件)】

(2)-1-1 ⑬鉄道の計画運休に関する情報提供等

1. 台風第19号のふりかえりと検証

(2)-1-1 ⑭要配慮者利用施設や地下施設、大規模工場における避難訓練

1. 要配慮者利用施設避難確保計画に基づく訓練事例集
2. 志木市 令和3年度訓練事例集

(1)-2 ⑮応急的な待避場所の確保

1. 指定緊急避難場所の指定に関する手引き
(平成29年3月 内閣府(防災担当))
2. 流域治水対策等の主な支援事業(案)
(令和4年1月流域治水の推進に向けた関係省庁実務者会議)

(2)-1-2 ⑯避難訓練への地域住民の参加促進

1. 内閣府 住民の適切な避難行動の促進に向けた好事例集より
(災害の伝承と避難の呼びかけ(新潟県村上市) 防災キャンプ(福井県大野市))
2. みやぎ地域防災のアイデア集(宮城県ホームページ)

(1)-2 ⑧避難地や救援・救護活動の拠点等となる 防災公園の整備・機能強化

1. UR都市機構 防災公園街区整備事業を活用したまちづくり (防災公園街区整備事業パンフレット)



【事例概要】

UR都市機構による防災公園の整備事例とともに、そもそも防災公園とはどのようなものか、全国の防災公園がどのような防災機能を有しているか記載されています。R8年度より新たにフォローアップを実施する防災公園の整備に関する取組では、地域防災計画に位置付けられた「拠点機能」および「避難地機能」を有する2種類の防災公園の整備状況が対象となります。各自治体管内の防災公園の整備状況を確認する際に、ご参考ください。

URL:<https://www.ur-net.go.jp/produce/machizukuri/park.html>

(2)-1-1 ⑥隣接市区町における避難場所の設定
(広域避難体制の構築)等

1. 水害からの広域避難事例集(内閣府)

水害からの広域避難 事例集

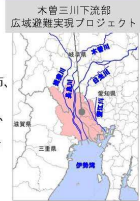
空振りをおそれず、早めの避難！！
災害から命を守る！！

内閣府(防災担当)

木曾三川下流部広域避難実現プロジェクト

□地区の概要

- 人口：約40万人(全人口)
約24万人(浸水想定区域内の人口)
- 対象災害：木曾三川の氾濫、伊勢湾の高潮
- 構成機関：中部地方整備局河川部・木曾川下流河川事務所、桑名市、木曾町、津島市、愛西市、海津市、津島市、蟹江町、飛島村
- 取組背景：高潮や洪水による犠牲者がゼロとなることを目指して、避難誘導の検討や水災害講演会などの意識啓発を、平成21年より継続的に実施。平成25年1月に、木曾三川沿川5市町の首長と「広域避難検討会」を設立し、平成27年10月にアクションプランを取りまとめた。平成28年10月に3市町村を追加し、8市町村による「広域避難実現プロジェクト」を設立。



取組概要

- ◆「木曾三川下流部広域避難実現プロジェクト」(関係8市町村の首長が、広域避難などの必要な取組について、公開ディスカッションを実施(第3回平成30年6月、第4回令和元年6月、第5回令和2年7月))
- ◆令和2年8月12日に、「木曾三川下流部 高潮・洪水災害広域避難計画(第1版)」を策定。同8月19日に首長参加のWEB会議(公開)により報道機関等と対して地域住民へ広報周知を実施
- ◆本計画では、東海ホールランド高潮・洪水地域協議会(P.11)と連携し、住民へ自主的な広域避難を促す仕組みを決定
- ◆今後は、訓練等とおして、計画より実効性の高いものにするるとし、「(自主的な避難が出来ずに)逃げ遅れた住民の緊急避難体制の確立」、「要援護者の避難」といった課題についてプロジェクトにて検討を行う予定

桑名地域防災対策会議

□地区の概要

- 人口：約21万人(全人口)
- 対象災害：伊勢湾の高潮
- 構成機関：三重県、桑名市、いなべ市、木曾町、東員町
- 取組背景：三重県、桑名市及び木曾町の海抜ゼロメートル地帯で高潮・洪水等により浸水が発生し、又は発生するおそれがある場合において、市町域を越えて住民がいなべ市及び東員町に避難できるよう、避難及び受入に関する事項について、広域避難訓練の実施、広域避難に関する協定の締結、広域避難タイムラインの策定などの検討を進めている。



取組概要

- ◆平成26年9月に、超大型台風接近時と通過後の対応について、災害発生時の備え、桑名地域の連携を強化するため、「危機発生時の相互応援に関する協定」に基づく広域避難に関する訓練を実施した。
- ◆平成27年度に、前年度実施の訓練結果等を踏まえた「広域避難実施要領(風水害編)」を策定した。
- ◆平成28年10月に、海抜ゼロメートル地帯を有する桑名市、木曾町を避難市町とし、いなべ市、東員町を受入市町とする「浸水時における広域避難に関する協定」に基づき広域避難を円滑に実施するため、「桑名地域広域避難タイムライン」を策定した。
- ◆伊勢湾台風発生から60年となる令和元年9月1日に三重県、桑名市、いなべ市、木曾町、東員町等、関係機関21機関参加の防災訓練を実施。(木曾町からいなべ市へバスの広域避難を実施。平成30年7月豪雨を踏まえた早期避難の重要性等を啓発するための講演会を実施)

12

【事例概要】

全国各地の「広域避難の実績」、「広域避難の協議会等」、「広域避難に関する協定」の先行事例をまとめた資料です。

広域避難計画に従い、実際に広域避難を実施した際の状況や得られた知見や、広域避難に関する協議体を設立した経緯や協議体の中での取組内容、自治体間の広域避難の協定を締結する際、どのような経緯で締結に至ったか等、様々な地区をモデルとした事例が掲載されています。

今後の各自治体における広域避難体制の構築にご活用いただけると幸いです。

URL:https://www.bousai.go.jp/fusuigai/suigai_kouikihinan/index.html

【新規 収集事例(4件)】

(2)-1-1 ⑦要配慮者利用施設における避難計画の作成

1. 要配慮者利用施設における避難確保計画作成推進に向けた 地方公共団体等の取組事例集

要配慮者利用施設における 避難確保計画作成推進に向けた 地方公共団体等の取組事例集

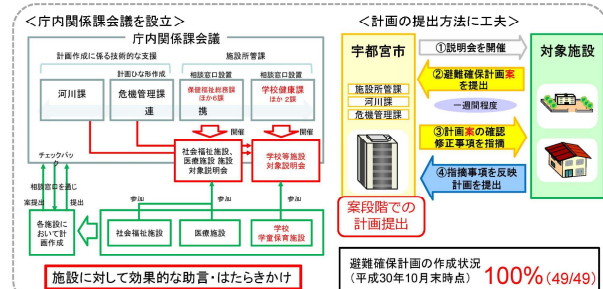
国土交通省 水管理・保全局
河川環境課 水防企画室
令和2年4月



宇都宮市の取組事例



- 庁内関係部局から構成される「**庁内関係課会議**」を結成し、役割分担や進め方を協議して連携体制を構築。
- 施設所管課毎に相談窓口を設定し、「**庁内関係課会議**」が一体となって計画作成を支援。
- 案段階の計画の提出を受け付けることにより計画提出を促進。



水戸市の取組事例



- 市の特性に合わせたひな形を作成。予め防災体制確立基準(洪水予報等によるトリガー)等を記載。
- 説明会開催、戸別訪問を通じて避難確保計画を作成を支援。

＜独自のひな形を作成＞

＜施設への個別対応＞

- ハザードマップ改訂時に、ハザードマップに要配慮者利用施設の名称等を記載することについて、施設を戸別訪問して避難確保計画作成の義務化や最大規模の浸水想定の意味等を解説
- 提出期限までに計画が未提出の施設や、説明会に参加できなかった施設に対して、**市職員が戸別訪問**して作成を依頼するとともに、再度の説明。戸別訪問に係る時間は、1件あたり約30分程度

避難確保計画の作成状況
(平成30年3月末時点) **97%(65/67)**

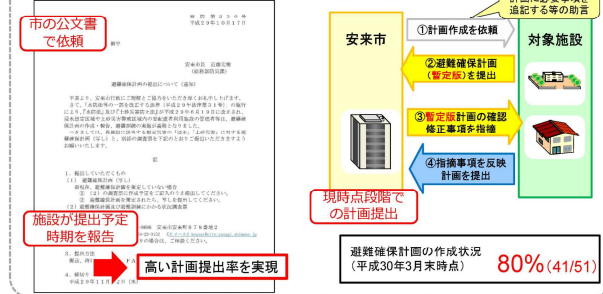
安来市の取組事例



- 施設に対し、市町村長名の公文書により計画作成を依頼
- 締め切りに間に合わない場合、施設管理者が自ら提出期限を設定
- 暫定版の計画の提出を受け付けることにより計画提出を促進。

＜計画作成依頼方法を工夫＞

＜計画の提出方法に工夫＞



【事例概要】

全国の自治体において、要配慮者利用施設における避難確保計画作成の推進に向けた独自の取組が行われており、国土交通省ではその取組についてヒアリングを実施しています。

避難計画作成に関する説明会の開催や戸別訪問、河川整備課内に専任の担当者を配置するなど独自の工夫を実施している、全国の中でも計画作成率の高い自治体の取組が整理されています。

本協議会を構成する市区町の避難計画作成率は平均で86.2%と高い水準ですが、今後も引き続き避難計画の作成を推進する必要があるため、ご参考ください。

URL:<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>

(2)-1-2 ⑥共助の仕組みの強化

1. 「防災」と「福祉」の連携による高齢者の避難行動に対する 理解促進のための取組事例集

4. 取組紹介

4.1 <取組1>地域包括支援センターへの防災パンフレット等の設置

4.1.1 目的

大規模氾濫減災協議会を構成している市町村におけるすべての地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等の防災関連のパンフレット等を設置する。

4.1.2 各モデル自治体の事例

(1) モデル自治体①【茨城県常総市】動画での広報に係る事例

- 常総市の庁舎にあるコミュニティビジョン(デジタルサイネージ)を活用し、30秒程度の警戒レベルに関する動画を放送した。
- 庁舎での待ち時間に啓発が可能であり、避難行動の理解促進の一手段となる。



地域包括支援センターにおいて動画による啓発やハザードマップの掲示を行っている様子

(2) モデル自治体②【福岡県久留米市】ハザードマップ設置に係る事例

- 久留米中央地域包括支援センターにハザードマップを掲示した。



地域包括支援センターにハザードマップを掲示している様子

13

4.2 <取組2>ケアマネジャー等への防災研修

4.2.1 目的

ケアマネジャーの職能団体の災害対応研修の場等を活用し、ケアマネジャーへハザードマップ等を説明する。

4.2.2 各モデル自治体の事例

(1) モデル自治体①【茨城県常総市】地域ケア会議に参加したメンバーに対する研修を想定した事例

1) 取組概要

- 定期的に開催される地域ケア会議の機会を利用することを想定し、研修を行った。

※常総市では、地域の高齢者の状況把握等の検討をおこなう目的で、地域の相談窓口である6施設(地域包括支援センターのプラチ)において、地域ケア個別会議を毎月開催している。出席者は、日頃から高齢者を支援している、自治会長、民生委員、ボランティア(常総市介護予防推進員、常総市行方不明高齢者 SOS ボランティア)他、市内の医療機関や介護保険事業所、社会福祉協議会である。(常総市 HP より)

○当日は、ケアマネジャーや相談支援専門員等 46名の参加者があり、気象庁による防災気象情報に係る講習、国文省下館河川事務所によるマイ・タイムライン作成講習が行われた。



ケアマネジャー等を対象とした研修の様子

14

【事例概要】

「(2)-1-2 ⑥共助の仕組みの強化」ではすべての市区町を対象に、高齢者福祉部局や地域包括支援センターへのハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等、防災に関する啓発活動をお願いしております。

上記資料には、「地域包括支援センターにおいて設置された防災意識啓発のための動画の内容」や「ケアマネジャーを対象に実施された災害対応研修の内容」などが記載されています。

本協議会においてこの取組は、令和4年度に半数の市区町で実施が完了して以来、継続して取組を実施している市区町が比較的多い取組です。

R8年度以降の取組の推進に、本資料をご活用いただくと幸いです。

URL:<https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/>

(2)-1-1 ⑥隣接市区町における避難場所の設定
(広域避難体制の構築)等

1. 鬼怒川・小貝川の大規模水害に関する広域避難計画(案)

鬼怒川・小貝川下流域の大規模水害に関する
広域避難計画(案)

2019年〇月

鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

目 次

第1 広域避難計画の策定	1
1. 策定の趣旨	1
2. 広域避難に関する基本的な考え方	1
第2 広域避難計画の基本的事項	4
1. 避難対象地区	4
2. 広域避難先	6
3. 避難経路	8
4. 広域避難体制への移行に係る判断基準	12
5. 避難情報の発令	13
第3 広域避難所の開設・運営等	14
1. 広域避難所の開設	14
2. 広域避難所の運営	15
3. 物資の確保	15
4. 避難者名簿の作成	15
5. 避難が長期化した場合の対応	15
6. 広域避難所における要配慮者の支援等	15
第4 広域避難の方法と手段等	16
1. 一般住民の広域避難	16
2. 要配慮者の広域避難	16
第5 住民等への周知と啓発等	17
1. 地域防災計画への反映	17
2. 住民等への周知	17
3. 広報媒体の効果的な活用	17
4. 分かりやすい避難情報の発令	17
5. 防災教育の推進	17
第6 関係機関の連携	19
第7 今後の課題	19
●関係資料	
鬼怒川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)	20
小貝川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)	21
鬼怒川・小貝川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会規約	22
鬼怒川・小貝川下流域広域避難に関する検討会の開催状況	24

【事例概要】

鬼怒川・小貝川流域13市町による、大規模水害時の広域避難に関する協定が締結され、広域避難計画が策定されました。広域避難を行う場合の基準や要件、広域避難場所開設の流れなどが記載されています。

URL:<https://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00717.html>

2. 首都圏における大規模水害区域避難検討会報告書 (広域避難計画策定支援ガイドライン)

3. 広域避難計画モデルの策定に向けて ～東京東部低地帯における検討を踏まえて～

首都圏における大規模水害広域避難検討会
報告書

広域避難計画策定支援ガイドライン

令和4年3月

首都圏における大規模水害広域避難検討会

資料2

広域避難計画モデルの策定に向けて
～東京東部低地帯における検討を踏まえて～

令和5年3月

首都圏における広域的な避難対策の具体化に向けた検討会

【事例概要】

内閣府と東京都が連携し、大規模水害時の大規模・広域避難の実装に向けた検討が「首都圏における大規模水害広域避難検討会」で進められており、「広域避難計画策定支援ガイドライン(資料-左)」の中では、広域避難計画において定めるべき内容や策定の手順、留意点等が整理されています。

その「広域避難計画策定支援ガイドライン(資料-左)」を踏まえ、「広域避難計画モデルの策定に向けて(資料-右)」の中では、さらなる広域避難対策の具体化を目的として、広域避難先の開設・運営方法や広域避難先への避難手段・誘導等が取りまとめられています。

江戸川流域および中川・綾瀬川流域における広域避難計画を検討する際にも、参考資料の一つとする予定ですので、各市区町における広域避難を検討する際にもご活用いただければ幸いです。

URL:<https://www.bousai.go.jp/fusuigai/suigaiworking/kouikihinan.html>

4. 木曾三川下流部広域避難実現プロジェクト

台風の接近や渋滞で動きがとれない！

巨大台風が近づいて
風や雨が
強まると…

電車のダイヤが乱れたり、
運行停止になります。

電車が運行停止
徒歩での移動も困難

より一層になってあわてて
一斉に避難
すると…

橋や駅に避難者が集中し、
大混乱や大渋滞が発生する
おそれがあります。

渋滞や避難者の
集中による混乱

このような状況を迎えるために、
プロジェクトで **台風接近前の早い段階** から情報を発表します

もしも、
今回の台風は…

72時間前までに
発表は72時間後に
猛烈な台風が上陸する
可能性があるとき

プロジェクトで協議開始
広域避難のための協議を
始めます

まずは逃げる準備です

8市町村からの情報

避難情報に備えて、
すぐに避難できる準備を
しておきましょう

どうやら、
可能性が高まってきた…

48時間前までに
発表は48時間後に
猛烈な台風が上陸する
可能性があるとき

自主的な広域避難情報
（広域避難の呼びかけ）
浸水想定区域外の安全な
場所への自主的な避難を
呼びかけます

8市町村からの情報

親せき・知人宅など安全な
場所に逃げてください

その後…

市町村からの避難情報に注意して避難してください。

あなた自身の早めの判断が、あなたや家族の命を守ります。
気象情報なども積極的に収集し、早めに避難しましょう。

「自らの命は自らが守る」 大規模水害に対応する主体性が求められます

＜国民の皆さんへ～大事な命が失われる前に～＞

- ・自然災害は、決して他人ごとではありません。「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。
- ・気象現象は今後更に激甚化し、いつ、どこで災害が発生してもおかしくありません。
- ・行政が一ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。自然の脅威が身近に迫っているとき、行政は万端ではありません。皆さんの命を行政に委ねないでください。
- ・避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。皆さんの命は皆さん自身で守ってください。

（中略）

「あなた」一人ではありません。避難の呼びかけ、一人では避難が難しい方の援助など、地域の皆さんで助け合ひましょう。

行政も、全力で、皆さんや地域をサポートします。

※内閣府中央防災会議「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について（報告1）」より抜粋

大規模水害から犠牲者ゼロを実現するためには、地域の皆さんの主体的な対応行動が必要不可欠です。木曾三川下流部広域避難実現プロジェクトでも、地域の皆さんの命を守る行動を最大限サポートするため、取り組みを継続していきます。

木曾三川下流部にはゼロメートル地帯が広がり、巨大台風来襲時には、大規模な高潮・洪水災害が発生する
可能性が否定できない状況にあります。ご自身のご事情として水害対応について考えてみましょう。



伊勢湾台風の再来！

木曾三川下流部で
大規模な水害が発生したら…

伊勢湾台風の再来！

広大なゼロメートル地帯が広がる

どうなる？ どうする？

木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクトについて

「木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト」は、木曾三川下流部の8市町村で構成する組織であり、
高潮や洪水氾濫による大規模水害からの犠牲者ゼロの実現に向けて取り組んでいます。



8人の市町村長による会議の様子

広域避難体制の構築

大規模水害が発生する前に浸水域内の全ての住民が安全に浸水域外に避難することを理想として、広域避難を基本とした避難対応を推進します。

広域避難の理解促進

木曾三川下流部の水害特性と早期の広域避難の重要性について、広く理解が得られるよう様々なPR活動に取り組んでいます。

※内閣府中央防災会議「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について（報告1）」より抜粋

大規模水害から犠牲者ゼロを実現するためには、地域の皆さんの主体的な対応行動が必要不可欠です。木曾三川下流部広域避難実現プロジェクトでも、地域の皆さんの命を守る行動を最大限サポートするため、取り組みを継続していきます。

【事例概要】

木曾川氾濫域の8市町村による広域避難実現に向けた組織「木曾三川下流部 広域避難実現プロジェクト」では、的確な広域避難誘導の実現に向けた取り組みが進められています。また、令和2年には「木曾三川下流部 高潮・洪水災害 広域避難計画」が策定されています。

江戸川流域および中川・綾瀬川流域の下流部と同じく、ゼロメートル地帯に市街地が広がるといった特性を持つ木曾三川下流地域の広域避難計画の策定事例は、全国的にも先進的な事例ですので、ご参考ください。

URL:<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/takashio kouzui kentoukai/index.html>

5. 茨城県広域避難計画策定ガイドライン

大規模水害時における広域避難計画策定ガイドライン

～広域一時滞在の考え方～

茨城県災害対応勉強会

広域避難検討ワーキンググループ

<目次>	1
はじめに	1
I 広域避難計画の基本方針	2
1 広域避難計画の目的	2
2 広域避難計画の位置付けと全体像	3
3 用語の説明	4
II 広域避難計画作成の手順	5
1 広域避難を協議する場の設置	5
2 対象とする災害に係る基本事項の確認	5
3 広域避難計画対象区域の設定	6
4 広域避難者数の検討	7
5 広域避難場所の検討	7
6 危険箇所と避難経路の検討	9
7 職員の参集体制の検討	11
8 情報の収集体制の検討	11
9 情報伝達体制の検討	12
III 発災時の対応	15
1 広域避難開始の判断	15
2 住民の安否情報の確認	15
3 広域避難場所の開設・運営・支援	16
4 広域避難場所への物資提供	16
5 広域避難の長期化対策	17
6 災害救助費の取扱い	17
IV 平時からの備え	19
1 洪水ハザードマップへの記載	19
2 広域避難計画の実効性の確保	19
V 広域避難計画の記載事項例	20

【事例概要】

茨城県では、平成27年9月の関東・東北豪雨災害を踏まえ、茨城県災害対応勉強会・広域避難検討ワーキンググループで検討を重ね、平成30年3月に「大規模災害時における降雨域避難計画策定ガイドライン～広域一時滞在の考え方～」として市町村が作成する広域避難計画の策定支援を目的とした基礎資料を作成しました。

URL:<https://www.pref.ibaraki.jp/bousaikiki/bousaikiki/bousai/kouikihinan.html>

6. 隣接市区町における避難場所の設定(広域避難体制の構築)等の先進事例

2)① 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組



■ 対策事例 【ふじみ野市】

取組26-2 広域避難計画の市町村間の協定締結



担当部署	ふじみ野市
連絡先	049-262-9017
関係機関	ふじみ野市
取組概要	平成8年度より、近隣自治体(富士見市、三芳町)と「災害時における相互援助に関する基本協定書」を締結しています。 本協定は、地震・風水害をはじめとする災害発生時などにおいて、圏域住民の生活の安定を目的とし、物資提供・職員派遣・避難施設提供等の支援について定めているものです。 また、本協定を締結している2市1町合同の総合防災訓練を4年に一度実施しており、平成29年度については本市主催で実施し、情報の連携及び共有の他、行政境住民の受け入れ等を行ったところです。
取組内容の工夫点・課題・留意点	行政境の避難所開設訓練として、近隣自治体からの避難者受入訓練を実施しました。
取組による効果	近隣自治体との連携を深めるとともに、行政境近隣住民のコミュニケーション充実による地域防災力の向上につながりました。
活用可能な制度等	特になし

荒川水系(埼玉県域)大規模氾濫に関する減災対策協議会構成員のうち、上記と類似・同様の取組を行っている市町村等
白岡市、川島町、吉川市 等

33

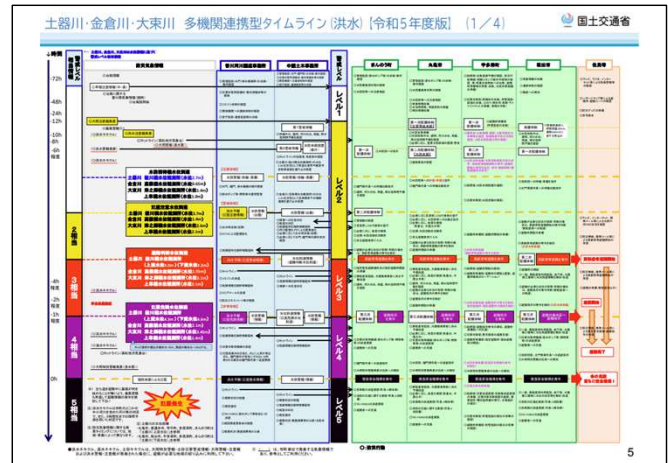
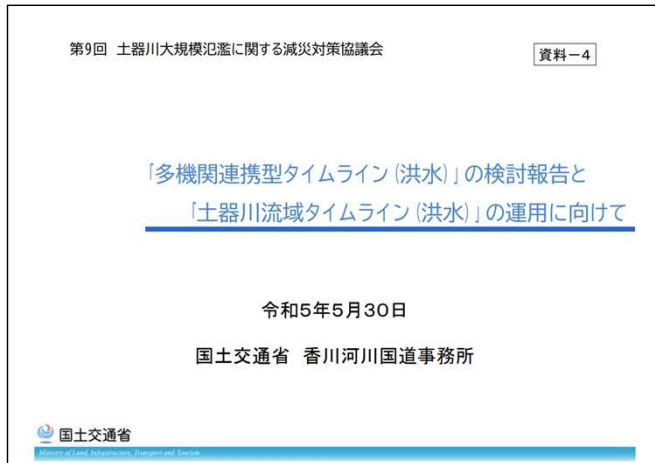
【事例概要】

埼玉県ふじみ野市では、災害時の相互援助に関する協定を締結する近隣自治体(富士見市、三芳町)合同の総合防災訓練を実施しており、平成29年には行政境の避難所開設訓練として近隣自治体からの避難者受け入れ訓練を行っています。

URL:<https://www.ktr.mlit.go.jp/araio/araio00908.html>

(2)-1-1 ⑫多機関連携型タイムラインの検討

1.「多機関連携型タイムライン(洪水)」の検討報告と
「土器川流域タイムライン(洪水)」の運用に向けて



【事例概要】

土器川・金倉川・大束川を対象とした多機関連携型タイムラインにおける、
発災前の対応や被災シナリオの設定が記載されています。その他に土器川流域
タイムラインも記載されており、具体例として有用な資料です。

URL:https://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/mizubousaivision/dai9/9_shiryo4.pdf

2. 千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムラインについて (令和6年度 長野県大規模氾濫減災協議会)

資料-5

千曲川・犀川流域(緊急対応) タイムラインについて

千曲川河川事務所

1. 流域タイムラインの概要及び運用実績

- 千曲川流域に着目した「千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン」を、令和2年9月より試験運用を開始
- 流域タイムラインを円滑に運営するためのツール「情報共有プラットフォーム」を開発し、各機関の状況を共有
- 構成機関が一層に集った「運用会議」を開催し、流域全体で危機感を共有し早期の対応を実施できる体制を構築
- 自治体タイムライン・コミュニティタイムラインを作成し流域TLと連動

【運用会議実施状況】

※令和6年度末現在
令和2年度: 2回
令和3年度: 7回
令和4年度: 4回
令和5年度: 6回 計19回



流域警戒ステージの区分・目標	
時期区分	防災行動の目標
流域警戒ステージⅠ	災害の危険性に注意を促す
流域警戒ステージⅡ	防災対応の方針を決定する
流域警戒ステージⅢ	防災対応を開始する
流域警戒ステージⅣ	上下流を連携した防災対応を実施する

【事例概要】

千曲川流域に着目した流域タイムラインの運用実績や運用の流れ、その他にもタイムライン運用時に必要となる多様な情報を一元的に集約した独自のシステム「情報共有プラットフォーム」に関する情報が記載されています。

URL:<https://chikuma-kinkyu.com/ryuuiki/>

3. 他事務所における多機関連携型タイムラインの運用事例 (鳥取河川国道事務所 令和2年度千代川水害タイムライン検討会)

参考資料

他事務所における 多機関連携タイムラインの運用事例

令和2年度
千代川水害タイムライン検討会(第1回)
令和2年8月28日

2. 多機関連携タイムラインの運用事例 (1) 他河川のタイムライン運用成功事例

▶ 他河川における運用事例から見る多機関連携型タイムラインの効果

項目	良かったこと・改善されたこと	関係したグループ
主体	検討段階から協力を構築できたため、関係機関との連絡調整が円滑にできた	避難対応
各機関の対応	早期の段階から危機管理意識を持って情報収集を行い、的確にTLの発動ができた	車検問
	早期の段階から情報収集(気象・水情情報、交通情報)や情報に基づく的確な体制確保や車検問(避難対策、バトロール等)を実施できた	社会福祉(土木)
	TLで行動指針を提示したこと、職員の警戒や防災体制の構築時期を想定することができ、参事人数や参事時期を判断することができた	大規模避難・救助
	TL参加機関からの各種情報や行動指針を参考に先を見据えた行動を行うなど、自機関の対応を判断する客観的な情報や基準として活用できた	社会福祉(3の4の)
	円滑な情報収集により気象状況や被害状況等を取りまとめることができた	避難対応
	機関内の規定・要領とTLを照らし合わせながら、取るべき行動を確認することができた	社会福祉(3の4の)
	TLに沿った対応を行うことで、TL参加機関へ事前周知を適切なタイミングで実施することができた	避難対応
メール・SNS・FMによる情報共有	TL参加機関として危機感増強に寄与できるようになり、かつ、避難の見込みを気象台から直接聞くことができたため、多くの情報を収集できた	報道・広報
	MLでの情報発信により、各機関に迅速にTLの状況を共有することができた	車検問
	MLでのタイムライン発動、移行連絡により、事前のTLの確認や状況に応じた情報収集ができた	大規模避難・救助(質疑・消防)
	MLで発信される内容は機関内の情報共有・周知に活用できた	大規模避難・救助
メール以外の活用	ポータルサイトの活用により迅速かつ効率的な情報収集を行うことができた	大規模避難・救助

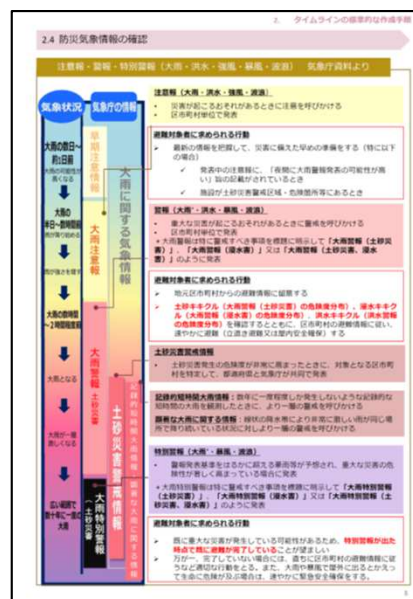
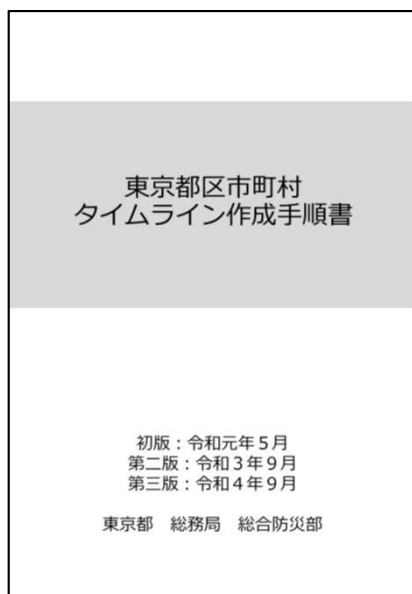
2

【事例概要】

鳥取県千代川水害タイムライン検討会では、他河川における多機関連携型タイムラインの活用状況や運用成功事例、課題などを整理した資料を公表しています。

URL:<https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference3/timeline.html>

4. 東京都区市町村タイムライン作成手順書 (東京都防災ホームページ)

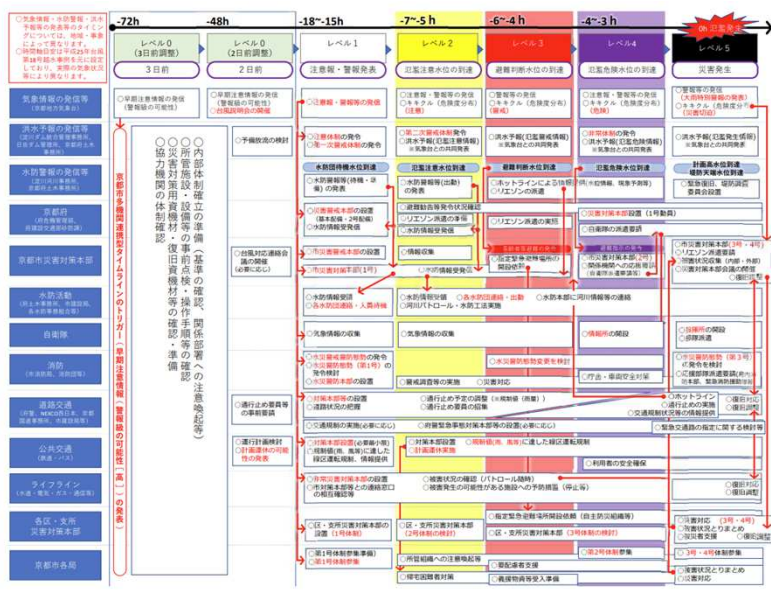


【事例概要】

タイムラインの普及拡大を目的として、東京都は都内区市町村向けに「東京都区市町村タイムライン作成手順書」および「東京都区市町村タイムラインひな形」を作成しました。基本的な情報は一般的に活用可能なものとなっています。

URL:<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/torikumi/1000217/1006454.html>

5. 京都市多機関連携型タイムライン (京都市防災ポータルサイト)

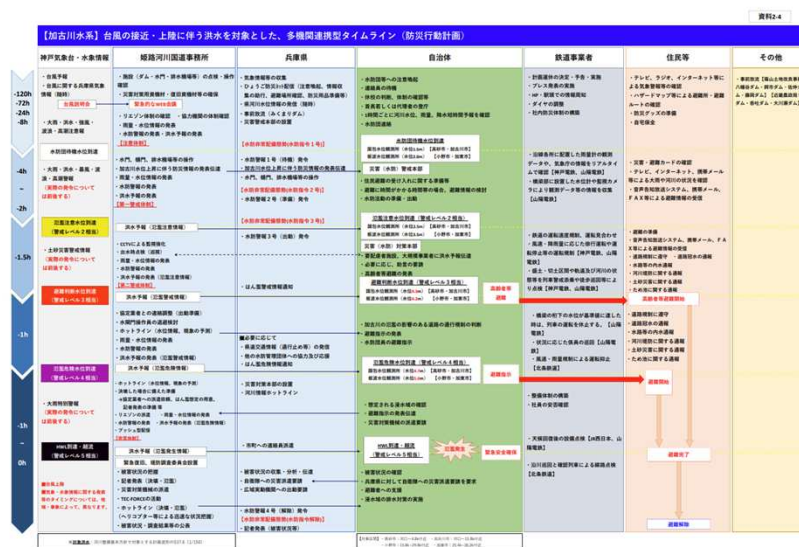


【事例概要】

京都市は、鴨川・桂川・宇治川を検討対象河川とした、多機関連携型タイムラインを令和6年に策定しました。策定までの検討手順などが詳細に記載された資料が京都市のホームページに掲載されています。

URL:<https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp/0000000449.html>

6. 加古川水系多機関連携型タイムライン (第8回加古川減災対策協議会)



【事例概要】

加古川減災対策協議会は、令和3年に多機関連携型タイムラインを策定しました。実際の多機関連携型タイムラインのほか、タイムラインの策定までに参考にした資料なども公表しています。

URL:https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/kasen/gensai/kako_gensai/kako_gensai8.html

(2)-1-1 ⑬鉄道の計画運休に関する情報提供等

1. 台風第19号のふりかえりと検証
(荒川下流河川事務所 令和元年度 荒川下流域を対象としたタイムライン専門部会)

資料 1

台風第19号のふりかえりと検証
(After Action Review/Improvement Plan)

- (1)台風第19号による大雨と荒川の出水状況【別添1参照】
- (2)荒川下流タイムラインの運用結果
- (3)鉄道各社の計画運休に関する対応状況
- (4)ふりかえりとタイムライン検証(ワークショップ)

令和元年12月19日

令和元年度 荒川下流域を対象としたタイムライン専門部会(第1回)

(3) 鉄道各社の計画運休に関する対応状況

- ・公共交通機関3社による台風第15号や19号への対応状況の紹介

- ◆東日本旅客鉄道株式会社
- ◆東武鉄道株式会社
- ◆東京地下鉄株式会社

(順不同)

13

①TL運用を踏まえた課題と補足

/1) 課題

●「タイムラインを使う」に関する課題

項目	課題(各機関意見)	課題への対応(事務局案)
設 レ 定 レ ベル の 適 用 と 活 用	適用基準やレベル設定・継続の根拠を知りたい [中央区、足立区、東京都交通局、埼玉高速鉄道(株)]	①②)で共有します
レ ベル 伝 達 の 活 用	台風以外に前線性の降雨でもTLを適用してほしい [首都圏新都市鉄道(株)]	TLの適用は台風のみであるが各自適宜防災行動を実施していただきたい
活 用	TLのレベル伝達の際に目安の時刻 (-3H等)の数値は不安を煽るだけで不要と考える [東京都交通局]	今後検討を進めていきたい
報 告 集 等 情	特に台風19号では業務過多でTL活用が十分行えなかった[川口市、墨田区、東京都建設局]	
報 告 集 等 情	TLを運用する上で何がポイントになるのか(気象・水象状況の全てを把握する必要があるのかどうか)助言がほしい[足立区]	個別に調整をいたします

17

①TL運用を踏まえた課題と補足

/2) TL運用とレベル設定基準について

●適用基準(案)(令和元年度)＜タイムラインレベル(目安の時刻)設定の目安＞

TL レベル	目安の 時刻	タイムラインレベル(目安の時刻)設定の目安	タイムラインに記載される 気象情報・洪水予報など
レベル 1-1	-120H	【気象】台風5日先の予報円が、荒川下流タイムライン台風警戒区域①に到達すると予想され、更に本州南側に接近すると見込まれる場合。 ※次の台風は適用除外(東シナ海～日本海を北上する、日本の東海上を北上する、九州付近を西に迂回する台風)	台風の発生 ※左記3台風は想定外
	-96H	【気象】台風4日先の予報円が荒川下流タイムライン台風警戒区域②に到達すると予想され、本州付近の北上が見込まれる場合。	台風による日本への影響の可能性
	-72H	【気象】台風3日先の予報円が荒川下流タイムライン台風警戒区域③に到達すると予想され、本州付近を北上し、関東地方に大きな影響が見込まれる場合。	台風による首都圏への影響の可能性
	-48H	【気象】台風2日先の予報円が荒川下流タイムライン台風警戒区域④に到達すると予想され、本州付近を北上し、関東地方に大きな影響が見込まれる場合。	台風の首都圏への接近
レベル 1-2	-30H	【河川】避難水門(上)の水位3.00m(水防団待機水位)を超え、更に水位の上昇が見込まれる。	大雨・洪水注意報(埼玉、東京) 強風注意報(埼玉)、強風・波浪注意報(東京)
	-24H	【河川】避難水門(上)の水位3.50m到達。	水防団待機水位(避難水門(上))
	-18H	【河川】避難水門(上)の水位3.50m(避難注意水位)を超え、更に水位の上昇が見込まれる。 ※避難水門(上)水位も同時確認	大雨・洪水注意報(埼玉、東京) 避難注意報(避難水門(上))
	-14H	【河川】治水橋の水位7.50m(避難注意水位)を超え、更に水位の上昇が見込まれる。 ※避難水門(上)水位も同時確認	避難注意報(埼玉)、暴風・波浪注意報(東京) 避難注意報(治水橋)
	-12H	-	-
	-	-	記録的短時間大雨情報(埼玉)

21

【事例概要】

JR東日本や東武鉄道、東京地下鉄などが台風第15号や19号へのタイムラインの対応状況を振りかえり、タイムラインの課題や対応について議論を行った内容が取りまとめられています。

URL:<https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage01594.html>

(2)-1-2 ④要配慮者利用施設や地下施設、大規模工場における避難訓練

1. 要配慮者利用施設避難確保計画に基づく訓練事例集
(盛岡市ホームページ 令和6年7月)

2. 志木市 令和3年度訓練事例集
(志木市ホームページ 令和4年9月)

避難確保計画に基づく訓練事例について

岩手県総務部総合防災室

要配慮者施設の避難確保計画に基づく
令和3年度訓練事例集等について

令和4年2月

志木市

総務部 防災危機管理課
子ども・健康部 保育課
福祉部 共生社会推進課
福祉部 長寿応援課

1. 訓練事例① 神奈川県座間市の避難行動訓練

- 座間市では、平成27年10月4日(日)に市内初となる風水害対応の避難行動訓練を実施。
- 座間市では、地震や火災を想定した防災訓練等を実施していますが、そのほかの災害を想定した訓練、特に避難行動の訓練は行われていなかった。
- そこで、目久尻川沿いに位置する「つつじ野住宅自治会」と連携し、実際に河川の災害を想定した避難行動訓練を行いながら、避難行動の検証を行いました。

- 【訓練内容】
- つつじ野住宅集会所から立野台コミュニティセンターへの避難行動
 - 避難経路の確認
 - 要支援者の対応方法
 - 移動経路上の不具合確認
 - 雨天時の避難経路の状況をイメージ



車いす、リヤカー連行訓練の様子

【参加者感想】
・車いす、リヤカーは押すのが大変！交代で押したほうがいい。
・道路や歩道の幅が狭いので、車いすやリヤカーが通りにくかった。
・車いすに乗ったとき、少しの段差でも怖かった。

市道・県道歩行時の様子

【参加者感想】
・歩道の傾斜がきつい。
・雨が降ったときに坂をうまく歩けるか不安。
・歩く時間(速度)はみなまちまち。
・傾斜が歩道にもあるもので、何か目印になるものがあれば安全だと感じた。

出典：座間市HP
「市内初となる風水害対応の避難行動訓練を実施しました」

要配慮者施設の避難確保計画に基づく令和3年度訓練事例集等
事例1：おおのみち保育園(保育園部門)

避難経路を確認した垂直避難訓練等
訓練日時：令和3年8月24日(火) 9:30～10:00
実施場所：おおのみち保育園・幼稚園
参加者：職員(13名)、園児(21名)
想定災害：洪水を想定
訓練概要：幼稚園までの避難経路の確認訓練、
保育園立ち退き避難訓練、垂直避難訓練、
備蓄品持ち出し品の確認訓練



職員及び園児が
垂直避難をする様子

幼稚園に避難が
完了した様子



3 幼稚園屋上にある避難用品の写真

- 施設の特徴
- ✓ 中宗岡地区に位置する定員30名規模の保育園。
- 訓練の特徴
- ✓ 保育園施設は浸水するおそれがあるので、幼稚園までの経路の確認訓練を実施している。
 - ✓ 幼稚園は施設の2階が高台になるので、垂直避難をする場所としている。
 - ✓ 幼稚園までの避難手段を複数決めている。
施設浸水時：おんぶ、抱っこ、避難車
施設未浸水時：おんぶ、抱っこ、避難車、徒歩
 - ✓ 洪水時の避難用品を幼稚園屋上入り口に常備している。
- 志木市防災危機管理課・保育課から
- ✓ 避難確保計画では、避難するだけではなく避難生活をするための備蓄も計画するよう定めています。左に添付した写真のように、あらかじめ整理しておくことが望ましいです。

【事例概要】

「要配慮者利用施設避難確保計画に基づく訓練事例集」は、岩手県が全国の要配慮者利用施設における訓練事例を収集し、訓練の内容や訓練参加者の感想などを取りまとめ、公表した資料です。

「志木市 令和3年度訓練事例集」は、埼玉県志木市の要配慮者利用施設における避難訓練の事例とともに、訓練の特徴や訓練時の注意点をとりまとめ、公表した資料です。盛岡市の事例と同じく、具体的な訓練事例の紹介資料として活用可能です。

協議会構成員の市区町全体でネックとなっている取組のひとつでもある、要配慮者用施設における避難訓練の実施促進のため、上記資料をご参考ください。

URL1:https://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/anzen_anshin/bousai/1024737.html

URL2:<https://www.city.shiki.lg.jp/uploaded/attachment/7681.pdf>

(1)-2 ⑤応急的な待避場所の確保

1. 指定緊急避難場所の指定に関する手引き
(平成29年3月 内閣府(防災担当))

2. 流域治水対策等の主な支援事業(案)
(令和4年1月流域治水の推進に向けた関係省庁実務者会議)

指定緊急避難場所の指定
に関する手引き

平成29年3月
内閣府(防災担当)

資料7

流域治水対策等の主な支援事業(案)

令和4年1月

流域治水の推進に向けた
関係省庁実務者会議

内閣府・金融庁・財務省・総務省・消防庁・文部科学省・厚生労働省・農林水産省・林野庁・水産庁・経済産業省・資源エネルギー庁・中小企業庁・国土交通省・気象庁・環境省

【事例概要】

「指定緊急避難場所の指定に関する手引き」では、指定緊急避難場所の指定条件や民間施設を指定する際の工夫のほか、「指定緊急避難場所の防災機能の強化」などを要件として活用可能な補助金制度の例が記載されています。

「流域治水対策等の主な支援事業(案)」は、流域治水対策の枠組みで活用可能な補助金・交付金が整理された資料ですが、「避難場所の確保」や「避難路・避難場所の整備」など、減災対策協議会の枠組みとも一致する取組に関する補助金の記載があります。

「指定緊急避難場所の指定」に関する取組には法的義務があり、R8年度より重点的取組に選定された取組です。
指定緊急場所の指定を促進するため、上記資料をご参考ください。

URL1:<https://www.bousai.go.jp/taisaku/hinanbasyo.html>

URL2:<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/suisin/renkei001.html>

(2)-1-2 ⑤避難訓練への地域住民の参加促進

1. 内閣府 住民の適切な避難行動の促進に向けた好事例集 (災害の伝承と避難の呼びかけ(新潟県村上市) 防災キャンプ(福井県大野市))

2. みやぎ地域防災のアイデア集(宮城県ホームページ)

4 災害の伝承と避難の呼びかけ

取組概要

- 村上市小岩内地区では、昭和42年8月の羽越水害を忘れないよう、毎年、地域のお祭り合わせて防災訓練を行い、**災害の記憶を伝承**してきた。
- 令和4年8月3日からの大雨では、**平日頃からの防災の備えが活かされ、被害が最小限に抑えられた。**

取組のきっかけ

- 羽越水害では、荒川流域で約6,000haの浸水被害、74名の死者・行方不明者が発生し、小岩内地区でも大きな被害を受けた。こうした災害を伝承するための取組を続けてきた。

取組のポイント

- 多くの住民が集まる「**地域のお祭り**」と合わせて「**防災訓練**」を行ってきた。また地区の公会堂には、羽越水害当時の写真と展示するなど、**日頃から「災害を忘れないようにする」**ことに努めていた。
- (こうした中、令和4年8月3日の大雨では)
- 令和4年8月3日21時30分、村上市はこの地区に対して避難指示を発令。
- 区長、役員、防災士が協議、「**空振りでもいい」と判断し**、地区の役員等が**住宅を一軒ずつ回り、住民に避難を促した。**
- 大雨により、指定緊急避難場所へ続く道は土砂崩れで通行できない状況。住民は、いったん公会堂に避難した。
- 区長には、羽越水害時の「大雨による急激な河川の増水」や、「流れてきた石がコンクリートに激しくぶつかる音」、といった**記憶が残っていた**。また、公会堂には、**羽越水害当時の写真も展示**があった。
- こうした中で、大雨が降り続く中、**このまま公会堂にとまると危険と判断**。高台のより安全な場所に「**再避難**」した。

▼公会堂で展示している羽越水害の記録写真

▼被害を受けた集落

取組の効果

- 住民が避難を終えた後、土砂が崩落を襲った。公会堂にも大量の土砂や流木等が流れ込んだが、こうした避難行動が幸いし、**この地区では一人の犠牲者も出ることがなかった。**

訓練等行事への参加促進

事例08 2 1 地区独自の防災訓練において「参加意識」を高める工夫

岩沼市 本町第一親交会自主防災組織

- 本町第一親交会では、市の総合防災訓練とは別の季節・日程に、町内会独自の防災訓練・イベントを設定し、参加者が集まりやすく、楽しみながら学べる工夫を取り入れている。
- 平成30年度の訓練では、一般の住民を対象に、防災に関するクイズ(正解者には防災グッズを進呈)を取り入れ、会場を盛り上げながら学習機会を設けた。平成29年度は、子供の参加と体験を重視し、複数の訓練・学びの場をスタンプラリー式に繋げる工夫を取り入れ、いずれもゲーム要素と防災知識を深める取組に力を入れている。

進め方とポイント

① 防災クイズ

- 災害時(水害、竜巻等)に身を守る行動や、消火器の使用法、災害に備えて備蓄しておく役立つグッズについて体験をもとに紹介するなど、ゲームの要素を取り入れながら、学びを深めるクイズを多数用意した。
- 一番早い正解者には、数百円程度の防災グッズを進呈したほか、会場が盛り上がるように進行や説明も工夫した。

② 防災スタンプラリー

- 子どもも大人も体験できる訓練として、①ロープ結び、②新聞紙を使ったスリッパ折り紙(地震発生時の足の保護)、③充電機の始動体験、④担架搬送の体験を準備し、スタンプを集めながら4訓練を体験できるよう工夫した。
- 特に、子どもの参加を呼びかけ、スタンプを貯めながら4つの訓練をすべて体験できるよう、楽しみの要素も交えて企画した。

この取組のポイントや「なぜ、できたのか」など

- 防災訓練に住民や子どもが参加してもらえよう、楽しさや体験を重視した訓練項目を工夫し、クイズやスタンプラリーをほかの訓練項目と組み合わせている。

【事例概要】

「内閣府 住民の適切な避難行動の促進に向けた好事例集」における新潟県と福井県の事例では、「地域のお祭り」とあわせた防災訓練や、アウトドア体験などを通じた災害発生時の避難所生活など、いずれも子供と親が同時に参加しやすい行事に合わせて避難訓練が行われている事例が紹介されています。

「みやぎ地域防災のアイデア集」は、宮城県内13市町の自主防災活動に関する取組事例をテーマ別に分類・整理したもので、取組を実施するにあたり必要な準備、取組が円滑に進んだポイントなどが取りまとめられています。

「(2)-1-2 ⑤避難訓練への地域住民の参加促進」については、令和7年度時点で8割近くの市区町が体制の構築を完了していますが、今後とも継続して取組を促進いただく際には、上記資料をご参考ください。

URL1:https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinankankoku/jumin_hinan.html
URL2:<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/bousai/miyagitiikibousai.html>